

【聖心女子大学での感染症感染予防の取組みについて】

- (1) 時差通学ができるように、午前7時から大学への入構が可能で、夜間も8時半まで滞在可能です。公共交通機関の混雑を避けて登下校し、予習・復習・課題作成等に取り組むことができるような環境を整えています。
- (2) 1号館・4号館・学寮の出入口にサーマルカメラを設置し、アラームに検知された学生、教職員は保健センターに連絡し、指示を仰ぐ体制を整えています。



- (3) 新しい生活様式での大学生活について、学生による周知活動が進められており、学生有志によって撮影された動画が、Sophie（教学システム）で発信されています。



- (4) 全ての建物出入口、各教室の出入口等、構内各所にアルコール製剤を配備しています。



- (5) 全ての教壇に飛沫防止用のパーティションを設置し、座席も距離を保って着席する配置にしています。固定席のホールなどでも、席の間隔を空けて収容人数を削減しています。



- (6) 教室などの窓に網戸を設置し、虫除けにも配慮しながら換気を徹底しています。(写真左下)



- (7) 学生食堂内のテーブルの正面と側面に飛沫防止用のパーティションを設置し、黙食等の注意喚起の掲示を行っています。(写真右上)
また、昼食時に黙食とマスク着用について放送により呼びかけを行っているほか、職員がプラカードを持って巡回し、注意を促しています。(写真右)



【感染症感染拡大の防止に向けた行動様式について（お願い）】

- ・登校前に必ず自宅で体温を測定し、発熱や風邪症状がある場合は登校を控えてください。
- ・構内では、次のような基本的な感染防止対策の徹底をお願いしています。



(マスク着用) (手指消毒) (間隔をあけた列、着席) (換気の確保)

- ・COCOA(接触確認アプリ)の利用を推奨します。
スマートフォンにCOCOAをインストールしたうえで初期設定を済ませてください。
- ・感染防止の観点から、授業・課外活動等終了後の友人らとの飲食は控えるとともに、学科部活・サークル等の懇親会等は実施を見合わせてください。

【学寮における感染防止対策】

大学構内の学寮においては、集団生活での健康と安全を第一に考え、以下のような対策を継続するとともに、保護者の皆様への連絡にも努めています。

- ① 学寮受付前にサーマルカメラを設置し、マスクの常時着用や手指消毒の呼びかけ。
- ② 一日2～3回の検温と記録の奨励。体調不良時にはすみやかに職員への申し出。
- ③ エレベーター内の密回避の為、1回に3人までの利用をルール化。
- ④ 食堂利用時の人数制限（分散）、や各テーブルへのアクリル板設置。黙食の徹底。
- ⑤ 各ハウスのリビングテーブルに飛沫感染防止用のビニールを設置。
- ⑥ 学寮生の制作による動画「学寮 コロナウイルスへの対応について」の配信。
- ⑦ ハウスや個室間の往来の禁止
- ⑧ ものの貸し借りをしない。
- ⑨ 20時の学寮門限を守る。不要不急の外出をしない。
- ⑩ 入浴時の沈黙。

